

地域医療連携推進法人はりま姫路総合医療センター整備推進機構  
令和2年度地域医療連携推進評議会 議事録

- 1 開催日時 令和2年6月24日(水)15:00-16:10
- 2 場所 じばさんびる 501
- 3 評議員総数 8名
- 4 出席評議員数 8名
- 5 出席評議員 石橋 悦次、井上 喜通、大野 幸一、北窓 隆子、  
藤澤 正人、邊見 公雄、守殿 貞夫、石川 誠
- 6 出席理事等 木下 芳一(理事長)、八木 聰、大西 武彦、橘 史朗、  
坂原 康敏、秋山 徹志

7 議事の経過の要領及び結果

定刻に至り司会者大西は、開会を宣言し、本日の評議会は、8名が参加している旨を告げ、議事の審議に入った。

(1) 令和元年度事業報告書及び令和元年度決算

事務局長は、当期(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)における事業状況を事業報告書等により説明した。

質疑及び意見はなく承認された。

(2) 令和2年度事業計画

事務局長は、今期(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)における事業計画を事業計画により説明した。

質疑及び意見はなく承認された。

(3) その他(質疑)

(評議員) 建設工事が始まっているので大幅な変更は難しいかもしれないが、可能な範囲で新型コロナウイルスなどの感染症に対応した外来、ICU、陰圧室などの対策は必要だと思いがいがか。

(理事等) 今まさに検討している。重症患者の対応ができるような準備を、工期に影響が出ない範囲で設計変更及び運用面での検討を進めている。

(評議員) 姫路市内の多くの病院は、受診すると待ち時間が非常に長くなる。新病院ではどのような工夫を行っているか。

(理事等) 新病院の新規患者は、地域の医療機関からの紹介時に予約を取っていただくことになっている。また、患者には、呼び出しの端末を渡し、病院敷地内のどこでお待ちいただいてもいいような準備をしている。今後とも、そもそもの待ち時間が短く快適なものになるよう検討を重ねて参りたい。

(評議員) 新型コロナウイルスについて、姫路市内には、現在6床の感染症病室があるが、人工呼吸器の対応ができず重症患者は、県立加古川医療センターと神戸市立医療センター中央市民病院に搬送していた。新病院では一定の対応が図れるよう検討いただきたい。また、県医務課の担当になると思うが、医療構想、医療計画の中で感染症対応の強化を記載すべきと考える。

- (理事等) 今年度、保健医療計画の中間見直しの年度であり、感染症対策の見直しを想定し、新病院での対応も検討して参りたい。
- (評議員) 研修医の定員を増やすのは難しいとは思いますが、新病院が研修医を多数受け入れられるよう県と市で関係機関に要望を行うべきではないか。
- (理事等) 研修医が多く勤務することで、新病院の活気にもつながる。県内の研修医の定員数が減るなかではあるが、厚生局にも何らかの対応を働きかけて参りたい。
- (評議員) 県は、県内全ての地域に目配せが必要であることは理解しているが、新病院の研修医の定員に対して、応募多数の状況が続けば、定数の増加につながる可能性も考えられる。是非とも魅力ある病院になるよう取り組んでいただきたい。
- (評議員) 総合診療医の養成にあたっては、丹波医療センターが精力的に取り組まれている。そちらとの連携も視野に入れていただきたい。また、民間病院のノウハウを取り込むことで、公立病院の強みも増すと思うので、事務部門も積極的に交流を進めていただきたい。
- (理事等) 総合診療医については、新病院でも部門をつくり、人材の選考を行って参る。加えて、丹波医療センターとも連携を進めて参りたい。また、事務部門の交流も積極的に進めて参る。
- (評議員) 診療科は、臓器別で診療科を細分化するのではなく、内科などは4つくらいに大まかに分けて、若手が様々な分野を研修できるような工夫が必要。人材の確保状況はいかがか。
- (理事等) 新病院では、内科で様々な分野を研修できるような運用を検討している。また、人材の確保については、神戸大学の強力なサポートで目処がついた。大変ありがたいと思っている。しかしながら、新型コロナウイルスの関係で、看護師の採用活動が遅れていることから、開院時の医療機能が段階的になる可能性がでてきている。
- (評議員) 採用活動に使う動画やパンフレットは、この病院で働きたいと思わせるような暖かみが必要。ぜひ、工夫していただきたい。
- (評議員) ICTの活用についての検討状況は、いかがか。
- (理事等) 近日中に県立病院各院長とICTの利活用について意見交換する予定である。開業医や救急との連携での活用、ペースメーカーをつけている患者などのモニタリング、また、入退院管理システムを活用した患者の所在確認などについて、意見交換を行い、新病院に取り入れて参りたい。
- (評議員) 様々な経験ができる新病院が研修医の研修の場となることで、研修の質があがると期待している。また、教育研修機能の充実も大切で、大学病院と連携して、いいものにしていただきたい。そのためには、研究や教育面で優れた人材の登用が肝要。しっかり、取り組んでいただきたい。
- (理事等) 研修部門については、既に循環器病センターでも研究部を立ち上げており、その部門を伸ばして参る。教育研究面でも大学と連携し、県西部の拠点になれるよう取り組んで参りたい。

以上をもって、議事を終了し、16:10 閉会した。

以 上